



# 帝京大学小学校だより

帝京大学小学校

## 50名の新1年生を迎えて

帝京大学小学校 校長 石井卓之

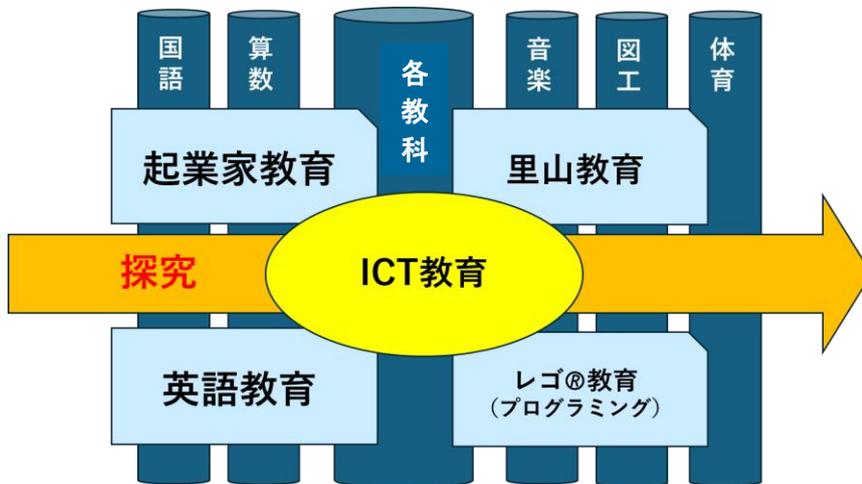


2025年度、各学年で児童数が一番多くなる50名の新入生を迎えます。少子化の中、本校を選んで入学された新1年生を、教職員一同、チーム帝京小として全力で支え、伸ばしていきます。

6年生は昨年度の起業家教育「帝小カンパニー」で制作した中の一つである帝小ポケジオ（フィギュア）を、新1年生にプレゼントしたいとの想いから、売り上げの一部を使って再発注しました。9日の入学式後に一人ずつガシャを回し、持ち帰ってもらうことを計画しています。この取り組みは、新たな6年生と1年生の縦割り活動となります。

このように、色々な取り組みが連動していくことで、新たな取り組みが生み出されていきます。これは帝京大学グループの目指す「実学」にも繋がります。

## 2025年度の教育活動



これからの時代、単なる知識ではなく、得た知識を「自分の頭で考え」、課題を解決する力として発揮することが求められています。

そのためには、各教科で学んで身に付けた力を探究の時間で行う、起業家教育、里山教育、レゴによるプログラミング教育などで発揮していくことが重要となります。また、海外と交流するときには、1年生から学んでいる英語力が必要となります。このように、縦軸となる教科の学びを解決する必要感のある

実学としての探究の横軸を通すことで、真の学びとなります。また解決の過程で必要な情報収集・活用能力、それを表現・発信するためにはICTを活用することが重要となります。今年度も、縦軸・横軸の学びを通して、学ぶことを楽しみながら学力を高められる教育を進めてまいります。その力は受験の際にも必ず役立ちます。

例年通り、本校の教育活動に賛同し、子どもたちの未来を切り拓く取り組みを行っている企業や大学、団体、NPO等とは、WIN-WINの関係で協働していきます。そのため、可能な限り企業や団体等のCSR活動にも協力したり、大学の調査研究にも参加したりしていきます。後日、願います授業場面の写真や子どもの作品（感想、イラスト、制作物）の掲載、アンケートへの協力等について趣旨をご理解の上、ご協力の程、よろしくお願いいたします。